

福祉サービス第三者評価項目（障害福祉サービス）の評価結果					評価結果
大項目	中項目	小項目	項目		
I 障害者・児施設	1 利用者の尊重	(1) 利用者の尊重	1 コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	A	
			2 利用者の主体的な活動を尊重している。	A	
			3 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	A	
			4 利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムがある。	A	
	2 日常生活支援	(1) 食事	5 サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	A	
			6 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	B	
			7 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	A	
		(2) 入浴	8 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	A	
			9 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	A	
			10 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	A	
		(3) 排泄	11 排泄介助は快適に行われている。	A	
			12 トイレは清潔で快適である。	B	
		(4) 衣服	13 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	A	
			14 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	A	
		(5) 理容・美容	15 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	A	
			16 理髪店や美容院の利用について配慮している。	A	
		(6) 睡眠	17 安眠できるように配慮している。	A	
		(7) 健康管理	18 日常の健康管理は適切である。	A	
			19 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	A	
			20 内服薬・外用薬等の扱いは確実にされている。	A	
		(8) 余暇・レクリエーション	21 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	B	
		(9) 外出・外泊	22 外出・外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	A	
		(10) 所持金・預り金の管理等	23 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	A	
			24 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意思や希望に沿って利用できる。	A	
	25 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意思や希望が尊重されている。		B		

【評価機関】

特定非営利活動法人VAICコミュニティケア研究所

評価調査票 (障害福祉項目)

事業者名 **聖マリア園**

(種別: 身体障害者療護施設)

評価基準	項目 番号	自己評価		評点	コメント
IV 障害福祉サービス					
IV-1 利用者の尊重					
IV-1-(1) 利用者の尊重					
IV-1-(1)-① コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。	1	(a) コミュニケーション手段を確保するための支援や工夫がなされている。 b c		A	誰が見ても分かるように個別支援計画書に具体的な手段・手法が記載されている。トーキングエイド・文字盤・ジェスチャー等個々の対応方法を工夫している。また職員が日常接触している中で利用者のニーズを汲み取れるよう一人ひとりに向き合った対応をしている。
IV-1-(1)-② 利用者の主体的な活動を尊重している。	2	(a) 利用者の主体的な活動が尊重されている。 b c		A	利用者を3グループに分け利用者が好きなように行動できるフリータイムを設けている。職員が付き添うが、自立して行動できる利用者は一人で外出もしている。
IV-1-(2)-③ 利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている。	3	(a) 見守りと支援の体制が整備されている。 b c		A	利用者が一人で行なえる活動については、すぐに介助せず見守る体制である。
IV-1-(2)-④ 利用者のエンパワメント(力をつけること)の理念にもとづくプログラムがある。	4	a 利用者のエンパワメントの理念に基づくプログラムが十分ではない。 (b) c		A	外出する機会を定期的に設け、社会性を養うことができるようにしている。困った時に自ら援助を求めることができる利用者は、自由に公共交通機関を利用して外出できる取り組みをしている。
IV-2 日常生活支援					
IV-2-(1) 食事					
IV-2-(1)-① サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。	5	(a) サービス実施計画に基づいた食事サービスが用意されている。 b c		A	栄養士・看護師・職員の関係者で利用者の状態を把握し、利用者個々に合わせた刻み食・軟食等様々な調理方法で対応している。

【評価結果】

評価基準		自己評価	評点	コメント
IV-2-(1)-② 食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく、楽しく食べられるように工夫されている。	6	a 食事が美味しく、楽しく食べられるように工夫が十分ではない。 b c	B	年2回の特別食の他、外食したり出前を取ることもできる。今後は毎日の食事により一層、利用者の嗜好や要望を取り入れることが期待される。
IV-2-(1)-③ 喫食環境(食事時間を含む)に配慮している。	7	a 喫食環境の配慮が十分ではない。 b c	A	障害に合わせてテーブルの高低・サイズに工夫が見られる。食事時間は幅を持たせてあり、利用者各自のペースで食事が取れるようになっている。
IV-2-(2) 入浴				
IV-2-(2)-① 入浴は、利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	8	a 利用者の障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。 b c	A	障害の程度により機械浴、一般浴等を使い分けている。車椅子対応の利用者がほとんどのため、脱衣所の高さを車椅子から移動しやすいように工夫されている。
IV-2-(2)-② 入浴は、利用者の希望に沿って行われている。	9	a 利用者の希望に沿って行われている。 b c	A	利用者アンケートを実施し、時間・順番の希望に沿った支援を行なっている。入浴は週2回であり、体調不良の利用者に対しては清拭を行なっている。入浴回数等、今後も利用者の希望を聞きながら対応していくと、さらに良いと思われる。
IV-2-(2)-③ 浴室・脱衣場等の環境は適切である。	10	a 環境への配慮はしているが、十分ではない。 b c	A	車椅子対応の工夫や脱衣所・浴槽は広くとってあり、照明も明るい。また清潔さを保とうとの努力も窺える。利用者の個々の要望に応え沐浴剤の使用も行なっている。
IV-2-(3) 排泄				
IV-2-(3)-① 排泄介助は快適に行われている。	11	a 介助は快適に行われている。 b c	A	個々の排泄介助については療護記録に明記されており、それに沿った対応が取られている。またナースコール対応も迅速に行なっている。重度の障害を持っている利用者に対しては2～3時間おきに対応している。

【評価結果】

評価基準		自己評価	評点	コメント
IV-2-(3)-② トイレは清潔で快適である。	12	a 清潔面の配慮はしているが十分ではない。 b c	B	職員が忙しくなかなか難しい面もあるかと思うが、より清潔な環境を保つ努力が期待される。
IV-2-(4) 衣服				
IV-2-(4)-① 利用者の個性や好みを尊重し、衣服の選択について支援している。	13	a 利用者の個性や好みを尊重した支援を行っている。 b c	A	衣服については利用者個々の意思で着用している。外出可能な利用者は自ら衣服を購入している。
IV-2-(4)-② 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	14	a 衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切に行われている。 b c	A	利用者の衣服に汚れがあった場合、また利用者から要望があった時は速やかに対応している。自ら着替えが可能な利用者に対しては、自分で着替えることを促している。
IV-2-(5) 理容・美容				
IV-2-(5)-① 利用者の個性や好みを尊重し、選択について支援している。	15	a 利用者の個性や好みを尊重した支援を行っている。 b c	A	月3回の訪問理美容、ボランティア理美容の際に、利用者個々の希望に合わせた支援を行なっている。
IV-2-(5)-② 理髪店や美容院の利用について配慮している。	16	a 配慮している。 b c	A	ほとんどの利用者が上記の訪問理美容、ボランティアを利用している。
IV-2-(6) 睡眠				
IV-2-(6)-① 安眠できるように配慮している。	17	a 配慮している。 b c	A	音に敏感で相部屋では安眠できない利用者に対しては、個室への移動により対応している。
IV-2-(7) 健康管理				
IV-2-(7)-① 日常の健康管理は適切である。	18	a 適切である。 b c	A	利用者個人の健康状態は療護記録の健康チェック表により毎日記録している。健康状態の変化によっては病院等との連携を取りながら対応している。

【評価結果】

評価基準		自己評価	評点	コメント
IV-2-(7)-② 必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	19	(a) 必要な時に、迅速かつ適切な医療が受けられる体制が整備されている。 b c	A	緊急時対応として要員が確保され、常に対応が可能な状況となっている。
IV-2-(7)-③ 内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	20	(a) 確実に行われている。 b c	A	療護記録に利用者個々の薬の効果・目的・使用方法が明記されており、薬の管理は看護師が行なっている。
IV-2-(8) 余暇・レクリエーション				
IV-2-(8)-① 余暇・レクリエーションは、利用者の希望に沿って行われている。	21	a 余暇・レクリエーションは、利用者の希望が反映され、希望に沿って行われている。 (b) c	B	ボランティアによる余暇支援が中心となって行なわれている。余暇活動の質の向上のためにさらなる工夫が期待される。
IV-2-(9) 外出、外泊				
IV-2-(9)-① 外泊は利用者の希望に応じるよう配慮されている。	22	(a) 利用者の希望に沿って行われている。 b c	A	外泊は利用者の申し出により、月8日間はいつでも外泊可能となっている。また家族が宿泊できる施設も整っている。
IV-2-(10) 所持金・預かり金の管理等				
IV-2-(10)-① 預かり金について、適切な管理体制が作られている。	23	(a) 適切な管理体制が整備され、確実な取組みが行われている。 b c	A	利用者の所持金は施設が保管しており、金銭出納帳により利用者及び家族に報告する体制となっている。
IV-2-(10)-② 新聞・雑誌の購読やテレビ等は利用者の意志や希望に沿って利用できる。	24	(a) 利用者の意思や希望が尊重されている。 b c	A	各居室へテレビの持ち込みは自由にできる。ロビーには常時、新聞や雑誌等が置いてあり、利用者の希望によっては個別に購読も可能である。
IV-2-(10)-③ 嗜好品(酒、たばこ等)については、健康上の影響等に留意した上で、利用者の意志や希望が尊重されている。	25	(a) 利用者の意思や希望が尊重されている。 b c	B	基本的には利用者個人の嗜好を尊重した対応をしている。ただし、周囲に迷惑をかけるような嗜好については適切な対処が望まれる。

【評価結果】